

## 松田町第6次総合計画策定審議会<第2回>議事録

日 時：平成30年8月10日(金) 午前10時から12時10分

場 所：松田町役場4階 大会議室

出席者：12名

吉田委員、安藤委員、辻村委員、山岸委員、吉崎委員、鍵和田委員、秋田谷委員、古館会長、菅谷副会長、吉川委員、小池委員、足立委員（名簿順）

町：本山町長、田代副町長、吉田教育長、渋谷議会事務局長、鈴木政策推進課長、小田総務課長、工藤税務課長、太田参事兼町民課長、川本子育て健康課長、竹内福祉課長、石井参事兼観光経済課長、依田環境上下水道課長、高橋まちづくり課長、椎野会計管理者兼出納室長、遠藤教育課長

事務局：政策推進課（柳澤、輿石）、ランドブレイン（石村、稲葉、中原）

### 会次第

1. 委嘱状交付
2. 会長あいさつ
3. 諮問
4. 町長あいさつ
5. 議事録署名人の選出
6. 議事
  - (1) 第1回審議会の振り返り【資料1】
  - (2) 町民アンケート調査結果報告について【資料2-1、2-2、2-3】
  - (3) 団体ヒアリング及び中学生アンケートについて【資料3、資料4】
  - (4) 第5次アクションプログラムの取組みの評価【資料5】
  - (5) 松田町第6次総合計画基本構想素案【資料6】
7. その他

### 質疑記録

#### ■議事（1）第1回審議会の振り返りについて

特になし

#### ■議事（2）町民アンケート調査結果報告について

会 長

資料2-3は町民の生の声が載っており貴重である。また、前回のアンケートとは異なり、すべての世代の意見があるのでぜひ見て頂きたい。

委 員

駅前の待合・案内所について、入口の段差などがあるため改善が必要。観光客への対応とし

て看板にインフォメーションを示す「i」マークがあるが、現在はポスターなどが貼ってあるだけで、十分な案内ができていないのではないかと。また、Wi-Fiがあると便利。

#### 事務局

現在、空き店舗を借りて活用している。観光まつり当日はスタッフを配置し外国人等の観光客にも対応していくが、日常的にスタッフを配置することはまだ難しい。将来的には、町内だけでなく周辺地域も含めた情報発信ができるように改善していきたい。

#### 委員

今年の小田急線ダイヤ改正で、新松田の利便性が低下したことは損失である。まちの発展のためにも、ロマンスカーの停車に関して危機感をもって取り組まれない。

#### 政策推進課長

新松田駅は、JR松田駅とともに交通の要衝を構成する重要な資源であり、ロマンスカー停車については、毎年小田急電鉄に要望を伝えてきた。平成29年にも直接、要望したが、今年3月をもって廃止となってしまった。その理由としては、新松田駅からの特急電車利用者の減少、秦野駅の利用者増加を踏まえて判断されたとのこと。

町では、今年度を目途に駅周辺の機能整備に関する基本構想を作成する。広域拠点といった立地特性を生かして南口、北口の整備を行う。また、JR御殿場線に対しても松田駅発着の特急本数の増加について要望を伝えている。

#### 委員

松田町の買い物について。商工会でプレミアム商品券を発行しても町内で買うところが無い厳しい状況。隣町でお金を消費している。日常的な買い物が町内でできないのは、町の弱点であり、生活面では一番の課題である。この計画を機に一步踏み込んだ取組みを進めてほしい。

#### 観光経済課長

町内で日常的な買い物ができるように、ロマンス通りを中心としたメインストリート事業などに取り組んでいく。その際、若い人たちの視点を大事にしながら進め、総合計画にも盛り込んでいきたい。

#### 会長

新松田駅北口の整備については、第5次総合計画（8年前）のアンケートや策定時の議論でもでてきたが、現状は変わっていない。この8年間でどのような進展があったのか？また、今後、どのようになってゆくのか。

#### まちづくり課長

平成28年に駅周辺のまちづくり協議会を設立し、議論を深めてきた。今年度中に基本方針・基本計画を策定し、公表をする。この計画をもとに、町民の方や関係機関と整備手法等を話し合っていていき、整備する予定。

#### 委員

駅周辺のまちづくり協議会に商工関係として私も参加している。協議会は、交通機関をはじめとする各方面の委員で構成されているが、かなり具体的な話になってきていると感じている。この総合計画の中にどこまで入れられるかは不明であるが、上手く入れ込めればと思う。

委 員

町民には、こうした駅周辺の検討状況が伝わっていないのでわからない。進捗状況をもっと町民に明らかにすべきである。

副 会 長

町民アンケートの自由意見には本当に素直な言葉が並んでいる。一方で、町の回答は議会答弁のように固い。もっと優しい言葉（視点）で、どうすれば町がよくなるのか考えて、町民の立場に立って進めてほしい。町の現在の進捗状況について、オフレコなものはその旨を伝えつつ、情報共有するのがこの会の意義。委員としても、もっとざっくばらんにやった方がいいのではないか。

副 町 長

ご指摘の通り、本会ではある程度踏み込んだ話も必要かと思う。職員の対応が少し硬かったのかもしれないが、徐々に慣れていくようにしたい。また、アンケートの結果からは、町の情報が町民に十分届いていないと分析でき、反省している。情報共有はすぐに取り組めることなので早急に対応したい。

副 会 長

10月から施行される自治基本条例では「情報提供」を基本原則としている。町民に対して硬くなりすぎない、やわらかい、分かりやすい情報提供を願いたい。

#### ■議事（3）団体ヒアリング及び中学生アンケートについて

委 員

団体ヒアリングの結果について、アクションプログラムに反映する段階でさらにヒアリングを行うのか。その場合、どこで誰と誰が行うのか。

事 務 局

ヒアリングは団体の方と町の担当課の職員とで行っている。団体によって、より具体的な話を進める必要がある場合は個別に対応させていただきたい。

委 員

中学生アンケートを行うのはいいが、まちの将来像といった重いテーマであることへの理解が浸透するか懸念している。

委 員

団体ヒアリングについて、日程がとてもタイトであった。どうにかならなかったのか。

事 務 局

申し訳ありません。本年度中の計画策定に向けて、ご協力願いたい。

#### ■議事（4）第5次アクションプログラムの取組みの評価について

委 員

基本構想や基本計画は、従来と大きく変わらないと思うし、変わってはいけない部分もあると思う。

第5次総合計画のアクションプログラムの評価について、A評価とB評価の違いはなにか。評価が違って、今後の取組みはどちらも継続になっている。

また、町民アンケート結果のグラフで4つにエリア分けされているが、これをどう活かそうと考えているのか。

事務局

A評価については、完了したもの、常時できている状態を表す。B評価については完了ではないが50%以上できているという意味である。

委員

進捗状況でA評価になっているところは、第6次計画には入れないということになるのか。

事務局

継続する必要があるものもあるが、完了（廃止）するものについても整理する。

委員

完了したものはどうするのか。アクションプログラムの中から外れるのか。日常的にやっていくのか。

事務局

完了したものはアクションプログラムから外れる。しかし、事業ごとに性質も違い、一事業が完了して次期計画に不要なものか、次期計画でも同様の事業が必要で「継続」すべきものか、日常的に行う必要があるものかなど、分かりやすい整理が必要。

委員

達成度はもっと具体的な数値で示さなければ、町民にはわからないのではないかと検討を願いたい。

委員

町民評価を4つに分けたものについては、どう展開していくのか。

事務局

町民評価の4区分については、本審議会へお示しするアクションプログラムの案を庁内で検討する中で、行政側の評価と町民の評価を比較しながら、計画へ反映していきたい。

#### ■議事（5）松田町第6次総合計画基本構想素案について

委員

「持続可能なまち」は難しい表現と感じる。また、将来像にしては消極的な印象であり、あえてここに掲げなくてもいいのではないかと。

委員

基本構想等は、もっとシンプルに作ってもいいのではないかと。大事なものはアクションプログラムで、町民にとっては、町が何をしてくれるのかが気になると思う。

会長

確かにアクションプログラムも大事だが、その前提としての基本構想で計画の大筋を合意しておくことが大切である。

副 会 長

将来像は標語のようだが、この背景には自治基本条例があるため、このような言葉になっていると理解する。しかし、町民はアクションプログラムで何をするのか（実効性、予算等）が気になると思うので、この兼ね合いを大事に進めていくべきである。

委 員

将来像は、開き直って「少数精鋭でがんばるまち」というのも一つの考え方である。

会 長

今日だけで決まる話ではないので、次回も継続して審議していきたい。

私の意見としては、サステイナブルと英語にするよりも「持続発展し続けるまち松田」と日本語で、かつ積極的な表現にしてはどうかと思う。

委 員

将来像は、P23 の3つの案が示されているが、P31 では「持続可能なまち」1つになっている。これらの関係は。

事 務 局

次回までに整理したい。

委 員

総合計画に、SDG s の理念を入れていく必要があるのか。

事 務 局

国連で採択され、世界的に取り組んでいる目標で、国としても新たな計画等を策定する際にはSDG s を取り入れることが推奨されている。今後どこまで継続・浸透していくかは見定める必要があるが、町として取り入れられるところは取り入れていきたい。

委 員

SDG s に定められている17の開発目標は、どれも理想が高いものである。項目の内容すべてを取り入れられるのかは疑問が残る。

会 長

基本構想については、次回も継続して審議することとしたい。

■その他

事 務 局

次回審議会は、9月の終わりから10月にかけて、追加で開催させて頂きたい。（了）

会 長

事前送付資料について、前回から更新した箇所がわかるように示していただければと思う。

副 会 長

基本構想・基本計画は、あまり変わるものではなく、町民にとってはアクションプログラムに焦点が当たる。職員も松田を愛する一員として議論を進められたら、更に本審議会が活性化するはずである。

本日は、ありがとうございました。